

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 手足口病

定点当たり3.05人と、前週の約2倍の報告がありました。増加が続いており、注意が必要です。県内では、6月4日に「手足口病警報」が発令されました。

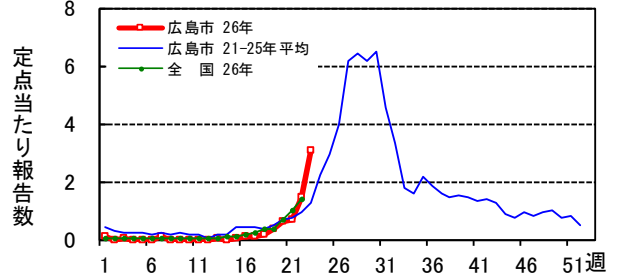
口の中の粘膜や手足などに水疱性の発疹がでるウイルス性の疾患で、乳幼児を中心に、夏季に流行がみられます。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染で、回復後も2～4週間程度、便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。(次ページ参照)

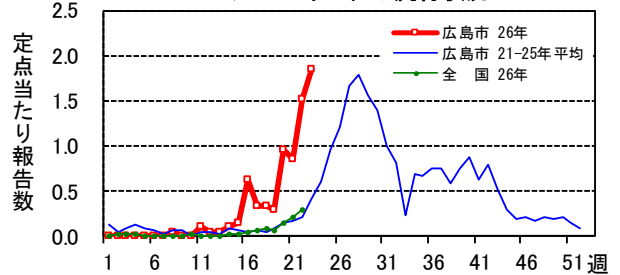
2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.86人の報告があり、増加傾向です。また、例年より多い状況が続いており、注意が必要です。咽頭結膜熱や手足口病とともに、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。発熱とともに、喉に痛みと水疱が現れます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

手足口病の流行状況



ヘルパンギーナの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1902	55.94				小児科	突発性発しん	6	0.29	0.28		
	インフルエンザ	-	-	0.43				ヘルパンギーナ	39	1.86	0.42		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	16	0.47					流行性耳下腺炎	1	0.05	0.04		
小児科	RSウイルス感染症	11	0.52	1.41			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.49				流行性角結膜炎	5	0.63	1.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.43	2.28			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	84	4.00	6.09				無菌性髄膜炎	1	0.17	-		
	水痘	12	0.57	0.23				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26		
	手足口病	64	3.05	1.26				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0.17	-		
	伝染性紅斑	1	0.05	0.85				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.15		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	62	30歳代・1人、40歳代・推定感染地域: 国外・1人、80歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	25	20歳代・O157・市外
4	レジオネラ症	1	10	80歳代
5	急性脳炎	1	5	10歳未満
5	梅毒	3	51	30歳代、70歳代、80歳代
5	百日咳	1	25	30歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告週	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
		広島市	第19週	1,272	3	15	1	8	39	84	3	7	-	2	6	-	-	3	-	-	3	-
	第20週	1,643	4	15	5	6	54	124	6	13	2	7	20	1	-	2	-	-	-	1	-	-
	第21週	1,626	-	22	6	6	54	108	4	15	1	8	18	1	-	4	-	-	2	-	-	-
	第22週	1,651	-	11	3	6	52	107	9	31	3	9	32	-	-	9	-	-	2	-	-	-
	第23週	1,902	-	16	11	4	51	84	12	64	1	6	39	1	-	5	-	1	-	1	-	-
定点当 たり	第19週	37.41	0.09	0.44	0.05	0.38	1.86	4.00	0.14	0.33	-	0.10	0.29	-	-	0.38	-	-	0.50	-	-	-
	第20週	48.32	0.12	0.44	0.24	0.29	2.57	5.90	0.29	0.62	0.10	0.33	0.95	0.05	-	0.25	-	-	-	0.17	-	-
	第21週	47.82	-	0.65	0.29	0.29	2.57	5.14	0.19	0.71	0.05	0.38	0.86	0.05	-	0.50	-	-	0.33	-	-	-
	第22週	48.56	-	0.32	0.14	0.29	2.48	5.10	0.43	1.48	0.14	0.43	1.52	-	-	1.13	-	-	0.33	-	-	-
	第23週	55.94	-	0.47	0.52	0.19	2.43	4.00	0.57	3.05	0.05	0.29	1.86	0.05	-	0.63	-	0.17	-	0.17	-	-
全国	第21週	46.79	0.09	0.36	0.30	0.46	3.07	5.28	0.39	0.98	0.08	0.36	0.20	0.05	0.01	0.45	0.03	0.05	0.22	-	-	0.05
	第22週	47.18	0.07	0.36	0.33	0.56	2.79	5.14	0.44	1.41	0.08	0.39	0.30	0.05	0.01	0.46	0.02	0.02	0.23	0.02	0.02	0.05

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	B型インフルエンザウイルス (ヒクトリア系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第18週	9	9					1		2					6	1	
第19週	9	6							1					4	1	
第20週	13	7				1						1		5	2	3
第21週	14	13				1	1	1	1	1		1		6		3
第22週	16	10							3			1		2	4	2

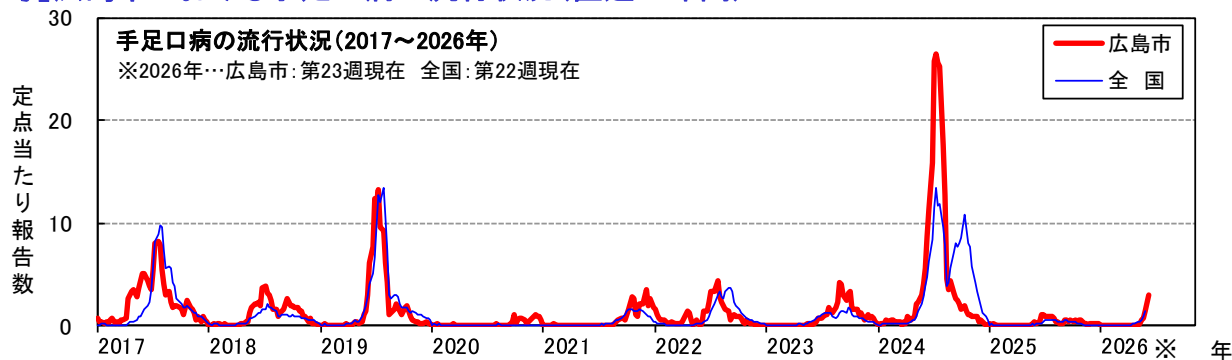
* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査: 広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで

広島市 病原体

検索

【参考】広島市における手足口病の流行状況(直近10年間)



手足口病は、乳幼児を中心に流行するウイルス性の感染症です。2019年までは夏季に流行し、1年おきに大きな流行となる傾向がありました。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた2020年の報告数は例年を大幅に下回り、2021年は秋から冬に流行し、従来とは異なる動向を示しました。その後は夏にピークとなる年が続き、2024年は過去最多の報告がありました、2025年は比較的少ない報告数でした。

今年4月中旬から増加が始まり、6月には警報が発令されました。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、特に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp